

2 技術指導業務

2-1 工芸産地技術指導

部門	地域	期間	指導 企業数	講師名	職員名	指導内容
染織	南風原町	H22.4.16	6	金城 盛弘	比嘉 利寛	染色技術
	読谷村	H22.4.27	10		伊元 幸春	染色技術
	南風原町	H22.9.6	5		比嘉 利寛	蒸し水元技術
	伊江村	H22.12.1~12.2	17		玉城 研 菅野 わかな	染色指導
	豊見城市	H22.12.22	10		伊元 幸春 菅野 わかな	図案技術
	計		48			
木漆工	金武町	H22.7.15	1	小黒 三郎	大城 直也	デザイン技術
	南風原町	H22.8.13	2		大城 直也	デザイン技術
		計	2			
合計			50			

2-2 年度別工芸産地技術指導数

年度	指導回数				指導企業数				備考
	染織	木漆工	デザイン	計	染織	木漆工	デザイン	計	
S49~H14	202	148	57	407	3,142	860	284	4,286	
H15	2	2	1	5	42	4	3	49	
H16	4	3	1	8	50	10	3	63	
H17	6	0	1	7	65	0	4	69	
H18	4	2	0	6	38	2	0	40	
H19	6	2	0	8	39	6	0	45	
H20	3	9	0	12	14	39	0	53	
H21	4	8	1	13	23	11	10	44	
H22	5	2	0	7	48	48	0	96	
合計	232	168	60	453	3,390	921	294	4,745	

2-3 技術調査

部門	地域	期間	調査及び指導内容	職員名
染織	大宜味村、読谷村、沖縄市	H22.5.24	工芸二次加工産地調査	玉城 研 仲間 大三 金城 のり子
	東京都	H22.7.21~7.22	工芸二次加工機械器具調査	比嘉 利寛
	石垣市	H22.8.4~8.5	工芸二次加工産地調査	玉城 研 仲間 大三
木漆工	国頭村	H22.4.1	原材料調査	大城 直也 瓜田 一
	東京都	H22.7.21~7.22	工芸二次加工機械器具調査	糸数 政次
	国頭村	H22.9.17	山原材料調査	大城 直也 瓜田 一
デザイン	東京都、大阪府	H22.9.28~9.29	デザイン調査	大城 直也 仲間 大三

2-4 講習会

部門	題目	内容	指導講師名	所属	期間	出席者数	場所
染織	染色技術講習会	直接染料の染色方法と色見本作成	比嘉 利寛	職員	H22.4.16	6	工芸技術支援センター
	化学染料の染色	インジコの染色技術	伊元 幸春	職員	H22.4.27	8	読谷山花織事業協同組合
	蒸し水元講習会	蒸し水元技術	金城 盛弘	金城紅型染工房 代表	H22.9.6	8	工芸技術支援センター
	天然染料の染色	落花生の染色技術	玉城 研 菅野 わかな	職員		17	伊江村体験学習所
木漆工	玩具デザイン	玩具デザイン技術	小黑 三郎	(有)遊プラン	H22.8.12~8.13	44	工芸技術支援センター
	鉋技術講習会	刃物研ぎ、鉋の口埋め、豆鉋制作	當間 孝	MOKU 代表	H22.3.28~3.30	4	〃

2-5 年度別技術相談件数

業種別	年度	S55	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	相談内容	＼ H14								
織物業	製糸技術	651	18	15	13	15	5	3	5	10
	撚糸技術	522	20	25	19	20	8	10	0	4
	デザイン技術	1,725	54	66	93	105	127	61	70	68
	糊付け技術	397	13	5	8	5	2	4	2	1
	染色技術	1,431	58	62	51	70	94	112	125	118
	緋技術	910	31	34	26	30	72	78	40	53
	紋織技術	989	45	40	34	43	38	42	55	48
	小計	6,625	239	247	244	288	346	310	297	302
紅型業	デザイン技術	999	92	96	105	124	112	97	90	96
	型彫り技術	623	56	47	51	68	51	62	76	82
	染色技術	1,079	38	35	37	46	56	58	52	45
	蒸し技術	482	41	46	41	28	38	20	17	21
	仕上げ加工技術	564	15	12	16	14	26	16	14	12
	小計	3,747	242	236	250	280	283	253	249	256
木工	木材乾燥	1,318	60	45	50	51	37	41	7	45
	塗装	915	15	39	23	34	40	39	32	20
	木材加工	1,097	40	51	55	57	32	56	68	72
	木材接着	164	2	1	0	9	7	5	1	8
	デザイン	1,167	71	40	50	52	43	35	56	50
	小計	4,661	188	176	178	203	159	176	164	195
漆工	素地	483	10	8	15	25	30	20	23	30
	髹漆	841	25	20	23	30	35	32	42	40
	加飾	822	30	25	30	26	25	23	30	35
	バガス成形	336	5	3	2	4	2	2	3	0
	デザイン	841	59	50	52	46	50	42	40	38
	小計	3,323	129	106	122	131	142	119	138	143
合計	18,356	798	765	794	902	930	858	848	896	

2-6 技術指導事例

染色技術講習会

担当 比嘉 利寛

1. 目的

直接染料の使用方法と三原色から基本色の作成方法の習得。

2. 指導概要

【講師】比嘉 利寛

(工芸技術センター 主任研究員)

【対象】豊見城市ウージ染め協同組合員
先染め、後染め新規組合員

【日時】平成22年4月16日

【場所】工芸技術支援センター

【内容】講義：【直接染料について】

- ①直接染料の説明
- ②染液の作り方
- ③染色の注意点
- ④染色方法（刷毛染め、浸染）
- ⑤染料の定着方法（蒸し工程）

【色見本について】

- ①色見本の必要性和活用方法
- ②色見本の作り方、見方
- ③三原色からの基本色の作り方
- ④混色の重要性

実習：【色見本の作成】

- ①綿布への染色
- ②乾燥（ドライヤーで強制乾燥）
- ③綿布の蒸し水元
- ④色別に綿布を裁断し色見本を作成

3. 指導成果

直接染料は染色方法が簡単で新規組合員が染色に携わる入門染料に適している。今回行った講習会で染料の取り扱い方法の把握と基本色からの混色作成をとおして混色の大切さ、重要性、色作りの楽しさを体感できた。また、受講者の色彩感覚の向上と色域の拡大にも繋がったと考える。



蒸し水元講習会

担当 比嘉 利寛

1. 目的

濃色染めの品質向上には蒸し、水元行程が重要になる。そこで、適切な蒸し、水元行程の把握を目的に講習会を実施する。

2. 指導概要

【講師】金城 盛弘

金城紅型染工房 代表(伝統工芸士)

【対象】工芸技術支援センター 紅型研修生
研修修了生

【日時】平成22年9月6日

【場所】工芸技術支援センター

【内容】講義：【蒸しの準備】

- ①蒸し工程の手順
- ②ひも掛けとピン（カン）掛け
- ③蒸しムラのトラブルと対処方法
- ④蒸し時間
- ⑤反物の掛け返し

【水元について】

- ①水元工程の手順
- ②助剤について
- ③防染糊の落とし方
- ④水元トラブルと対処方法

実習：【濃色染め赤、黒の反物を使用】

- ①反物の蒸し
- ②水元
- ③フィックス処理
- ④水元（糊抜き剤）

3. 指導成果

当センターの紅型研修指導技術の向上を目的に講習会を依頼した。金城講師の適切な説明、実習指導により大変有意義な講習会であった。今後は、得た技術を研修生指導及び関連事業所、関係団体などの技術支援へ活用を図ることで、紅型商品の品質向上に繋がると考える。



伊江島における天然染料による染色講習会

担当 玉城 研・菅野わかな

1. 目的

伊江村商工会から染色技術を商工会員へ指導してほしいとの依頼があり出向くこととなった。染色事業を民泊の体験のひとつとしてできないかという目的がある。また商工会では JAPAN ブランド育成支援事業出展のための商品展開の提案も兼ねている。

使用した染料は伊江島で栽培され、お土産としても人気のある落花生である。(染色に使用するのは落花生の“外殻”)

伊江島特産品でもあり、事前に行った堅牢度試験の結果も良好であったので染料として使用した。



2. 指導概要

【講師】

玉城 研

菅野わかな

【対象】

伊江村商工会会員

伊江村民泊事業者

【期日】

平成 22 年 12 月 1 日～平成 22 年 12 月 2 日



3. 指導成果

商工会会員や民泊事業者対象ということで、ほとんどの方が染色は初めての体験であったが、スムーズに作業を進め、綿と絹の布を染める上げることができた。

今回の講習会をきっかけに、村全体で一つの事業として立ち上げられれば継続した取り組みにつながるのではないだろうか。

また、産業活動に結びつけるためにも様々なアイデアをもとに、オリジナルの製品を開発できるよう、地域の方々が協力して進めていくことが望まれる。

